令和６事業年度

決　算　報　告　書

自：令和６年４月１日

至：令和７年３月 31 日

国立大学法人熊本大学

（様式2－1）

令和6年度 決算報告書

国立大学法人熊本大学

（単位:百万円）

区　分	予 算 額	決 算 額	差　額 （決算－予算）	備　考
収入				
運営費交付金	14,326	14,431	105	（注1）
施設整備費補助金	2,590	2,521	△ 68	（注2）
船舶建造費補助金	－	－	－	
補助金等収入	2,375	1,952	△ 422	（注3）
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	19	19	－	
自己収入	39,960	41,672	1,712	
授業料、入学料及び検定料収入	5,924	5,580	△ 343	（注4）
附属病院収入	33,605	35,411	1,806	（注5）
財産処分収入	92	144	52	（注6）
雑収入	339	536	197	（注7）
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	7,179	7,238	59	（注8）
引当金取崩	－	52	52	（注9）
長期借入金収入	－	－	－	
貸付回収金	－	－	－	
目的積立金取崩	2,875	1,397	△ 1,477	（注10）
引当特定資産取崩	－	215	215	（注11）
出資金	－	－	－	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成	－	－	－	
大学運営基金取崩	－	－	－	
計	69,324	69,499	175	
支出				
業務費	54,632	54,240	△ 391	
教育研究経費	18,772	18,080	△ 691	（注12）
診療経費	35,860	36,160	300	（注13）
施設整備費	2,609	2,540	△ 68	（注14）
船舶建造費	－	－	－	
補助金等	2,375	1,611	△ 763	（注15）
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	7,179	7,057	△ 121	（注16）
貸付金	－	－	－	
長期借入金償還金	2,485	2,484	0	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	44	69	25	（注17）
出資金	－	－	－	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成事業費	－	－	－	
計	69,324	68,004	△ 1,319	
収入－支出	－	1,495	1,495	

○予算と決算の差異について

（注１）特殊要因運営費交付金等の追加配分により、予算額に比して決算額が105百万円多額となっています。

（注２）文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が68百万円少額となっています。

（注３）施設整備関連の補助金における事業計画の変更等により、予算額に比して決算額が422百万円少額となっています。
補助金等収入には、授業料等減免交付金が341百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

（注４）授業料徴収対象者の減に伴う授業料収入の減等により、予算額に比して決算額が343百万円少額となっています。

（注５）診療報酬改定等により、予算額に比して決算額が1,806百万円多額となっています。

（注６）土地の売却額が増加したことにより、予算額に比して決算額が52百万円多額となっています。

（注７）自己収入の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が197百万円多額となっています。

（注８）産学連携等研究費等の受入増等により、予算額に比して決算額が59百万円多額となっています。

（注９）自己都合による退職により、予算額に比して決算額が52百万円多額となっています。

（注10）事業計画の変更により、予算額に比して決算額が1,477百万円少額となっています。

（注11）事業計画の変更により、予算額に比して決算額が215百万円多額となっています。

（注12）経費節減等に伴う支出の減により、予算額に比して決算額が691百万円少額となっています。

（注13）人件費及び委託費等の増により、予算額に比して決算額が300百万円多額となっています。

（注14）（注２）に示した理由等により、予算額に比して決算額が68百万円少額となっています。

（注15）（注３）に示した理由等により、予算額に比して決算額が763百万円少額となっています。

（注16）外部資金の繰越事業の増加により、予算額に比して決算額が121百万円少額となっています。

（注17）（注６）に示した理由等により、予算額に比して決算額が25百万円多額となっています。